

GRAND CYCLE TOKYO 実行委員会 事業最適化部会（第8回）

議事要旨

日時：令和8年2月4日（木） 11時～11時30分

場所：都庁第一本庁舎 15階 15F 会議室及びオンライン

1. 開会

2. 審議事項

（1）最終まとめについて

- 昨年11月の第5回事業最適化部会において、委員からの意見をまとめた『中間まとめ』をベースに、前回のレインボーライド・マルチスポーツの視察における意見等を踏まえ、内容を追加・更新し、『最終まとめ』として整理した。
- 1つ目、両大会の開催のあり方、都民支持について
 - －ロードレースとレインボーライドの相乗効果の観点から、ロードレースの周回コースの設定や両大会の連携開催の可能性を検討
 - －地域負荷が少なく初心者でもわかりやすいエキシビションレースの開催や、両大会の一体感の創出等、大会価値を高める工夫が必要
 - －長距離の交通規制による地元負担についての検討や地元にもメリットがあるイベントにするためにより一層の工夫が必要
- 2つ目、収入増・新たな価値創造について
 - －GCT事業のブランディングとして、より相乗効果を高めるため、レインボーライドを主体としたブランディングの推進
 - －レインボーライドについて、Bike New York や UCI など、海外連携の推進によるブランド価値向上の好循環の可能性
 - －海外連携だけでなく、他の国内大会との連携を図ることで、自転車のすそ野拡大につながる
 - －スポンサー獲得に向け、露出拡大、ポテンシャルパートナーへの営業等、より一層の工夫が必要

- 3つ目、費用対効果について
 - ロードレースの周回コースの活用等による費用削減を検討
 - 安全対策費については、安全面を第一に考えたうえで引き続き経費を精査
 - 入札により運営会社が毎年替わるため、継続性を持たせるための工夫が必要

【委員からの質問・意見】

- 沿道の各地域に PR の機会を提供することで、自治体や地元企業等の協力を得られるのではないかと。
- 国内の他都市や他大会との連携により、大会の盛り上げや地域振興につなげることができるとはではないかと。

3.その他

(1) 今後のスケジュールについて（予定）

本日審議した内容を本部会の『最終まとめ』として、GCT 実行委員会へ提案する。『最終まとめ』の内容について、速やかに対応可能な項目については、来年度の実施内容への反映等を行う。また、中長期的な課題については、事務局にて引き継ぎ、検討のうえ、実現に繋げていく。

今回で事業最適化部会は終了となる。

【委員からの意見・質問 なし】

4. 閉会